

総論

薬物療法の位置づけ

朴 成和 15

第1部 各臓器がんにおける現在の標準治療と今後の展望

1

食道癌

I 食道癌に対する周術期補助化学療法

1. 本邦と欧米における現況 対馬隆浩 22
 - I 本邦における治療開発／22
 - II 欧米における治療開発／25
2. 今後の展望 対馬隆浩 31
 - I 進行中の周術期治療試験／31
 - II 食道胃接合部癌に対する周術期治療／32

II 食道癌に対する化学放射線療法 小倉 望, 山本 駿 34

- I cStage I (cT1bN0M0) の食道扁平上皮癌に対する化学放射線療法／34
- II 切除可能な局所進行食道扁平上皮癌に対する化学放射線療法／36
- III 切除不能局所進行食道癌 (T4/M1 LYM) に対する化学放射線療法／37
- IV FOLFOX+RT 療法／38

III 切除不能食道癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス 小倉 望, 山本 駿 41
 - I 二次治療における免疫チェックポイント阻害薬の開発／41
 - II 一次治療における免疫チェックポイント阻害薬の開発／43
 - III 免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象に関して／45
2. 治療戦略 小倉 望, 山本 駿 46
 - I 一次治療のレジメンの使い分け／46
 - II 二次治療のレジメンの使い分け／48
3. 課題と今後の展望 小倉 望, 山本 駿 50
 - I 一次治療における治療開発／50
 - II 後治療における治療開発／52

2 胃 癌

I 胃癌に対する周術期補助化学療法

1. 本邦と欧米における現況 中山巖馬 54
 - I 切除可能進行胃癌の治療戦略における東西の隔たり／55
 - II 切除可能進行胃癌の治療戦略ーグローバル試験／62
 - III 切除可能胃癌周術期薬物療法の開発ー東西の枠組みを越えて／63
 - IV これからの切除可能胃癌薬物療法の開発ー周術期の枠組みを越えて／64
2. 今後の展望 中山巖馬 69
 - I 補助化学療法の確立ーこれまでのエビデンスを振り返る／69
 - II 今後の展望／72

II 切除不能胃癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス 牧山明資 74
 - I 胃癌の化学療法の進展／74
 - II 二次治療以降の治療／78
2. 治療戦略 牧山明資 80
 - I バイオマーカーに基づいた治療戦略／80
 - II HER2 陽性患者における治療方針／82
 - III HER2 陰性かつ dMMR 陽性患者における治療方針／82
 - IV HER2 陰性かつ CLDN 18.2 陽性患者における治療方針／82
 - V HER2 陰性かつ CLDN 18.2 陰性患者における治療方針／83
3. 課題と今後の展望 牧山明資 84
 - I 胃癌治療における課題／84
 - II 今後の展望／85

3 膵 癌

I 膵癌に対する周術期補助化学療法

1. 本邦と欧米における現況 石垣和祥 88
 - I 切除可能膵癌の術前補助療法／88
 - II 切除可能境界膵癌の術前補助療法／89
 - III 切除可能膵癌の術後補助療法／90
 - IV 切除可能境界膵癌の術後補助療法／91
2. 今後の展望 石垣和祥 96
 - I 切除可能膵癌を対象とした臨床試験／96
 - II 切除可能境界膵癌を対象とした臨床試験／99

II 切除不能膵癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス 大場彬博 101
 - I 単剤化学療法／102
 - II 多剤併用化学療法／102
 - III 2剤併用 vs. 3剤併用化学療法／104
 - IV 二次化学療法／106
 - V 標的治療と免疫療法／107
 - VI 化学放射線療法／108
2. 治療戦略 大場彬博 111
 - I 検査戦略／111
 - II 支持療法戦略／111
 - III 一次化学療法／112
 - IV 二次化学療法／113
 - V 標的治療戦略／113
 - VI 化学放射線療法戦略／114
3. 課題と今後の展望 大場彬博 116
 - I 切除不能膵癌の課題／116
 - II 化学療法の展望／117
 - III 標的治療の展望／117
 - IV 免疫治療の展望／118
 - V その他の展望／118

4 胆道癌（肝内胆管癌を含む）

I 胆道癌に対する周術期補助化学療法

1. 本邦と欧米における現況 井岡達也 122
 - I 術後補助化学療法／122
 - II 欧米における術後補助療法の研究／122
 - III 日本における術後補助療法／123
 - IV 日本と欧米における違いについて／124
2. 今後の展望 井岡達也 126
 - I 最近の術後補助療法／126
 - II 術前補助化学療法／127

II 切除不能胆道癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス 戸塚雄一郎, 上野 誠 131
 - I GEM療法, S-1療法／131
 - II GC療法／132
 - III GS療法／133
 - IV GCS療法／133

V GC+免疫チェックポイント阻害薬／	134	
VI 放射線治療／	134	
2. 治療戦略		濱口智美, 上野 誠 136
I 切除不能胆道癌における一次化学療法／	136	
II 切除不能胆道癌の二次化学療法／	136	
III 遺伝子異常に基づく胆道癌治療／	137	
3. 課題と今後の展望		上野 誠 140
I 薬物療法の限界／	140	
II 亜部位別の開発／	141	
III ICI と胆管炎・胆道ドレナージ／	141	
IV 高齢者での治療戦略／	141	

5 肝細胞癌

I 肝細胞癌に対する集学的治療

1. 切除可能例に対する集学的治療		池田公史 144
I 切除可能肝細胞癌に対する根治治療／	144	
II 周術期の補助療法／	145	
III Conversion 治療／	148	
2. 切除不能例に対する集学的治療（非薬物療法を中心に）	山口将太, 池田公史	151
I 穿刺局所療法／	151	
II 肝動脈化学塞栓療法（TACE）／	153	
III 肝細胞癌に対する放射線治療／	155	

II 切除不能肝細胞癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス		加藤紘大, 池田公史 160
I 一次治療薬／	160	
II 二次治療薬／	163	
2. 治療戦略		平 知尚, 池田公史 166
I さまざまな学会のガイドライン／	166	
II ガイドラインごとの違い／	169	
III 実際の治療戦略／	169	
3. 課題と今後の展望		池田公史 172
I 肝細胞癌の薬物療法の課題／	172	
II 肝細胞癌の薬物療法の今後の展望／	173	

I 大腸癌に対する周術期補助化学療法

1. 本邦と欧米における現況 児玉紘幸, 谷口浩也 178
 - I 欧米における標準治療／178
 - II 日本における標準治療／181
 - III Stage II 結腸癌／181
 - IV 遠隔転移切除後／182
 - V 遺伝子変異に基づいた術後補助化学療法の選択／182
2. 今後の展望 児玉紘幸, 谷口浩也 185
 - I 局所進行直腸癌に対する周術期治療／185
 - II 切除可能結腸癌に対する術前化学療法／187
 - III dMMR 大腸癌に対する術前免疫チェックポイント阻害薬／187
 - IV リキッドバイオプシーを用いた術後補助化学療法の展望／188

II 切除不能大腸癌に対する化学療法

1. 現在の標準治療とそこに至るエビデンス 斎藤優樹, 平田賢郎 190
 - I 一次治療／190
 - II 二次治療／192
 - III 三次治療以降／195
2. 治療戦略 斎藤優樹, 平田賢郎 198
 - I 全身状態の評価と有害事象プロファイルを意識したレジメン選択／198
 - II がんゲノム医療時代の治療戦略／201
 - III 抗 EGFR 抗体薬のリチャレンジという治療戦略／202
 - IV 根治切除を目指した治療戦略／202
3. 課題と今後の展望 斎藤優樹, 平田賢郎 205
 - I 今後承認が期待される分子標的治療薬／205
 - II 後方治療におけるレジメンの使い分け・順番／206

第2部 消化器領域の希少がんに対する化学療法

1 神経内分泌腫瘍

森實千種 210

I NET の治療／210

II NEC の治療法／215

2 消化管間葉系腫瘍

平野秀和 217

I 疫 学／217

II 臨 床 像／217

III 病理診断／217

IV 分子生物学的特性／218

V 切除可能 GIST の治療戦略／219

VI 切除不能・再発 GIST の治療戦略／219

3 小 腸 癌

廣瀬俊晴 225

I 小腸癌の分子生物学的特性／226

II 切除可能小腸腺癌の治療／226

III 切除不能・再発小腸腺癌の治療／228

第3部 消化器がん領域における化学療法の将来展望

1 胃癌・大腸癌におけるゲノム医療と分子標的薬

夏越啓多, 沖 英次 234

- I 国内のゲノム医療体制／234
- II 消化器（胃・大腸）がんで見つかるおもな遺伝子変異と分子標的薬／235
- III 消化器がんにおける CGP 検査の問題点／238
- IV ctDNA についての研究／238
- V 今後の課題／239

2 免疫療法の展望

石塚保亘, 舩石俊樹 241

- I 食道癌／241
- II 胃癌／243
- III 大腸癌／244
- IV 肝細胞癌／246
- V 胆道癌／247
- VI 膵癌／247

3 Post Genome 時代の化学療法 —消化管がんのゲノム医療の問題点を解決するための multiomics

庄司広和, 平野秀和, 足立 淳 251

- I CGP 検査とは 一消化管領域における限界／251
- II オンコ・リン酸化シグナリング／252
- III 「リアルタイム」なリン酸化プロファイル取得の検討／253

4 Conversion Surgery—現況と展望

横井亮磨, 安福 至, 深田真宏, 松橋延壽 258

- I Conversion surgery の概要／258
- II 各消化器がんに対する conversion surgery／261

索引／265